



# 令和3年度 第2回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2021.11.4 (木)

## **<目次>**

- 1. 認知症初期集中支援チーム上半期活動実績報告**
- 2. 本人ミーティングの報告**
- 3. 在宅医療・介護連携推進事業 上半期実績報告**
- 4. 多職種連携情報共有システムの運用状況**

# 1. 認知症初期集中支援千一△ 上半期活動実績報告

資料1

「認知症初期集中支援千一△令和2年度上半期活動実績」

## 2. 本人ミーティングの報告

# 本人ミーティングとは

対象者:物忘れに不安を感じている人、家族、  
関心のある地域の人

物忘れが心配な者同士が、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのより良い暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場。

★目的:認知症の人の視点を重視した優しい地域づくりを具体的に進めていくこと

- ①本人同士が出会い、つながる
- ②自らの体験・希望、必要としていることを率直に話す



- ③行政や関係者が本人の声を聴く
- ④本人の体験や思いの理解を深める

★自分らしく暮らし続けるために本人が必要としていることを把握し、発信・共有  
★本人視点に立ってよりよい施策や支援を一緒に進める

# ①参加者人数

	日程	場所	参加者			
			本人	家族	地域	専門職
1	7月2日(金) 7月9日(金) 10時~12時	白井 コミュニティ センター	4名	1名	1名	4名
2	9月30日(木) 10月7日(木) 10時~12時	西白井 複合センター	4名	2名	4名	3名
3	10月15日(金) 10月22日(金) 10時~12時	白井駅前 センター	5名	2名	2名	3名
合計			13名	5名	7名	10名

### ③実施方法

「秋と言えば…」  
の色を選んで自己紹介



#### ■ 自己紹介

#### ■ 「本人座談会」 DVD視聴

- 認知症と診断された時の気持ち（ネット情報をたくさん調べた、知識がない中でそれらの情報にショックを受けたりした…）
- 今ある相談窓口は介護者のための窓口ではないか
- 認知症予防と偏見について（認知症予防はいいことだが、認知症になると落ちこぼれになってしまっていて行けなくなってしまうのは意味がない。偏見は本人と家族の中にあるのではないか…）
- 本人からのメッセージ（認知症があっても外に出てほしい、笑顔でいることが症状の進行を遅らせる気がする…）

#### ■ DVDの感想から話を展開

共有内容…資料2 参照

# 本人ミーティング

## 《参加しての感想、気づき》

### 《本人》

本音で話せることは良い事。優しい人がそばにいると安心できる。

行動範囲が広がるので、認知症をオープンにした方がいい。引きこもらないことが一番大事と思った。

自分に負荷をかけて出かけることが大事だと思った

一人暮らしなので、不安は尽きない。でも、色々な話が聞けて、いきなり認知症になるのではないんだなと知ることができた。

本人

家族



地域

行政

### 《家族》

認知症の人は孤立している。認知症の人、不安な人、関心のある人が気軽に集まって、みんなで気兼ねなく本音で話せる場はとても大切。それが、自治会や小学校区ごとにあるといい。

この先どうなるのか不安だったけれど、そんなに『予防予防』と言わなくてもいいのかなと思えた。何かあれば助けてくれる人がいるんだと知れて、『なんとかなるかな』と思えたことは参加して一番の収穫だった。

認知症は怖いものだと思っていた。気持ちが前向きになれた。



# 本人ミーティング

## 《参加しての感想、気づき》

### 《地域》

当時者や家族の話はとても関心が高く、もっと色々聞きたいと思った。

認知症をみんな病気としてとらえている。その人個人をみるのが大事だと気付かされた。

お楽しみ処(認知症カフェ)が本人・家族が中心であってほしい。次のステップに繋がればよい。同じ立場で無理なく続けられることが大切。



### 《専門職・行政》

「何かをしてあげる」ではなく「(本人が)どうしたいか」の視点が大事と気付かされた。

認知症について、窓口の相談の中で情報提供できることに限界を感じ、どう対応していいか迷う場面が多々あった。気持ちに寄り添っていくことが大事だと気付かされた。

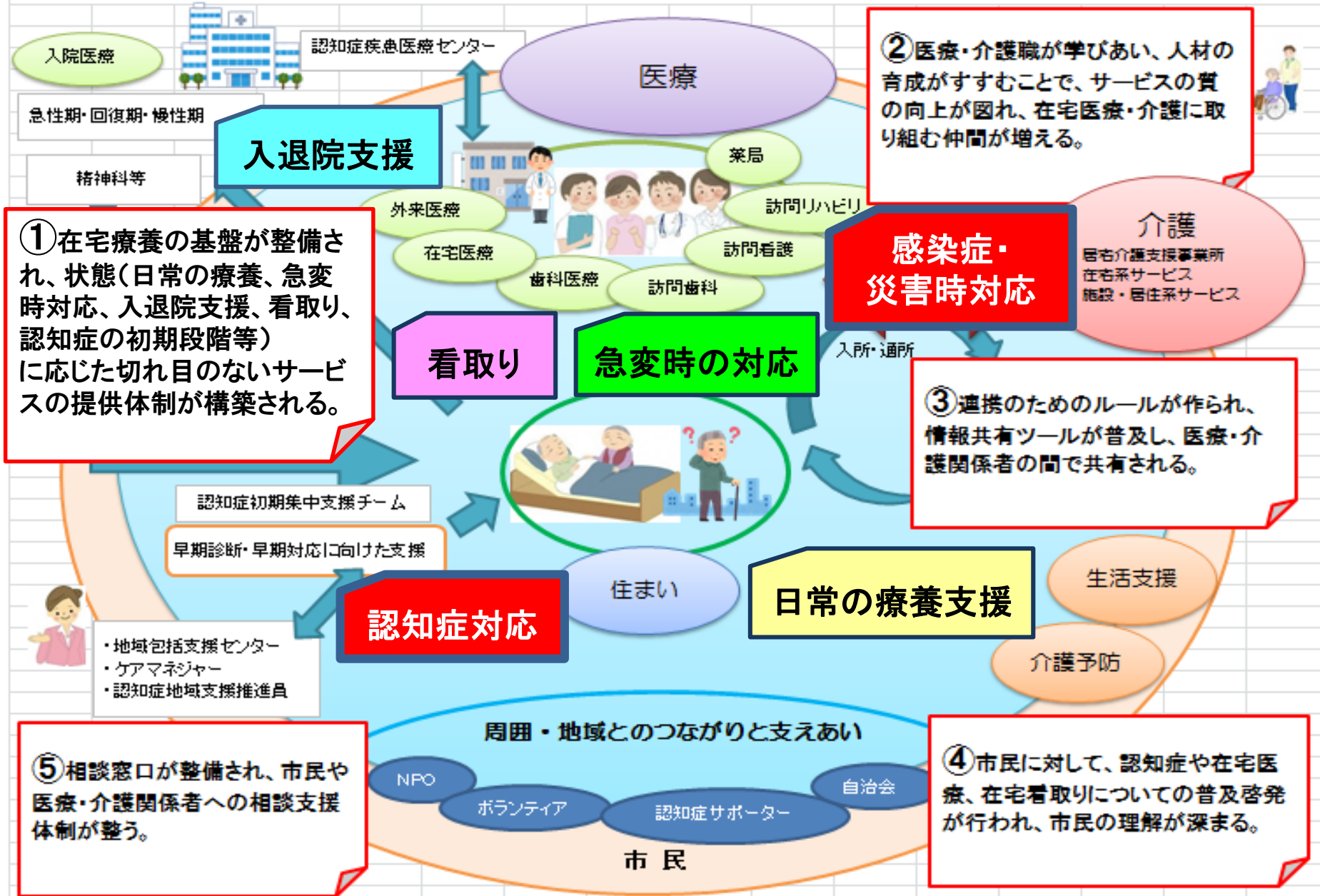
認知症について、これまで「こう感じているのではないか」との視点でしかわからなかったことが、当事者の話を聞くことで説得力を感じた。

# 意見交換

それぞれの立場から、本人ミーティングへの感想と、今後の展開(活用)方法についてご意見を伺います。

# **3. 在宅医療・介護連携推進事業 上半期実施報告**

住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



## 白井市の目指す姿 (5つの柱)

# ① 課題別ワーキングの取り組み

- 在宅医療・救急医療連携
- 市民啓発

# 在宅医療・救急医療連携ワーキング

開催日	内容
第1回 7月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 救急医療情報キット（以下、キット）の普及・活用状況の共有</li><li>● キット普及に向けたこれまでの取り組みを説明</li><li>● 高齢者の救急搬送の現状と課題</li><li>● 意見交換</li></ul>
第2回 9月16日（木）	<ul style="list-style-type: none"><li>● キット普及に向けた具体策の検討<ul style="list-style-type: none"><li>・ ケアマネジャー、訪問看護、消防署、病院など<b>関係機関</b>が取り組む対策</li><li>・ <b>市民</b>に向けての周知啓発方法</li></ul></li><li>● 自宅における救急時及び看取りに関する課題</li></ul>

# 市民啓発ワーキング

開催日	内容
第1回 8月3日（火）	<ul style="list-style-type: none"><li>●市内の高齢化の現状、これまでの市民啓発の取り組みを共有</li><li>●寸劇「在宅看取りと人生会議」（2019年市民啓発ワーキング制作）の動画視聴</li><li>●今年度の取り組みについて検討</li></ul> <p>「在宅医療・看護・介護などのサービスへの理解、在宅看取りという選択肢の紹介、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の大切さ」を説明する媒体づくりに取り組む。</p> <p>↓</p> <p>地域のサロンや地区社協の集まりに呼ばれた際、市・地域包括支援センター職員が媒体を活用し、市民への啓発を行う。</p>
第2回 10月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"><li>●ワーキングメンバーが担当した媒体の内容を集約し、修正箇所等を検討</li></ul>

## ② 多職種連携研修会の開催



# 感染症対策研修会



感染症、標準予防策についての講義

手指消毒方法、ガウン等着脱の演習

5/25.29 6/11.24  
7/3.15 計6回 開催

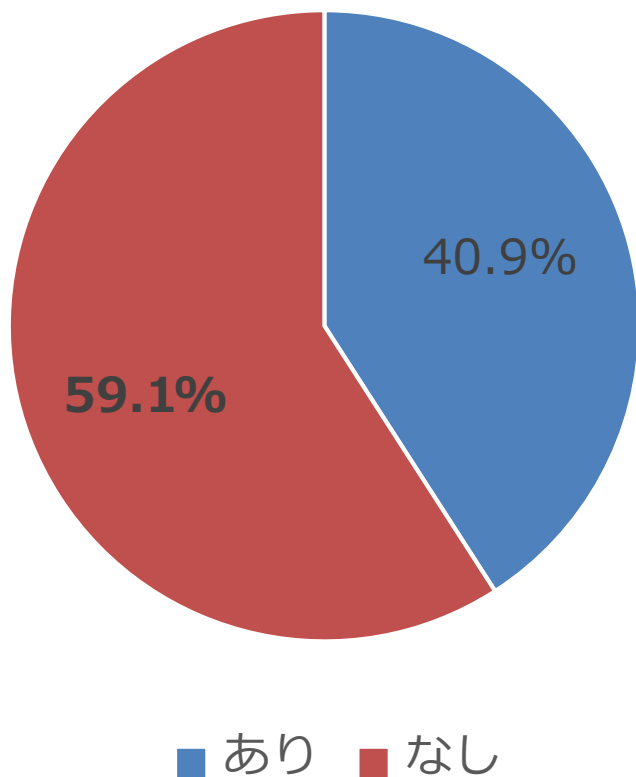
介護・障がい事業所職員

**192名**

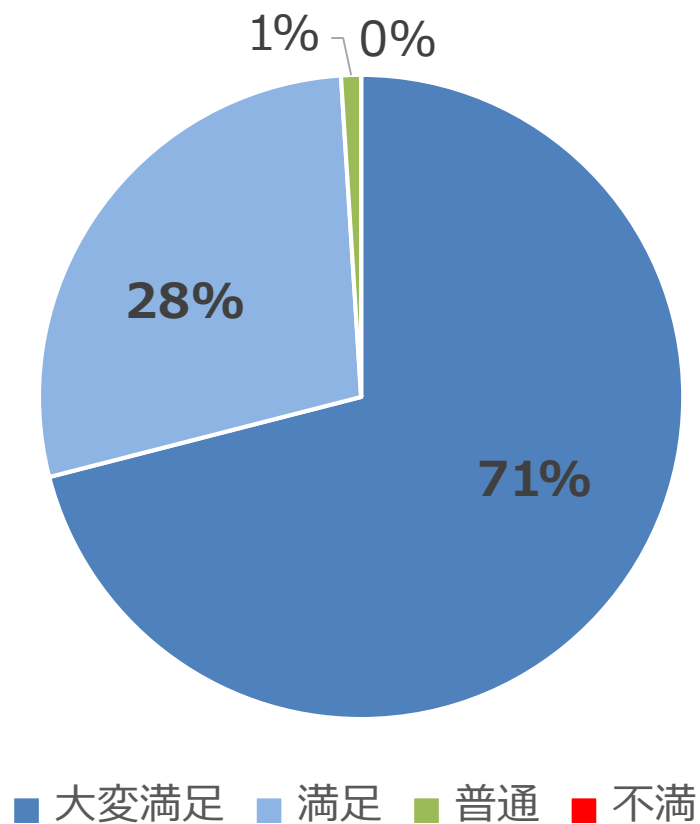
# 参加者アンケート結果

これまでに感染症対策について

学ぶ機会の有無



内容の評価



# 参加者の感想

- 今までの感染対策が不十分だったと感じました。
- 自分の職場で何が必要で、できている事は何かというチェックができました。
- クラスタが発生した施設の対応事例などの紹介もあり、とても分かりやすかった。
- テレビでガウン着脱を見ていると簡単そうだったが、実際に行ってみると上手くできず慌ててしまいました。
- ガウン装着を実践する時が来るのは困るが、体験できて良かった。

### ③ 救急医療情報キット活用状況

# 令和3年度 救急医療情報キット配布実績

キット配布数 (2021.4月～2021.9月末)	累計 (2017.12～)
357	3,508

## 令和3年度 救急活動現場におけるキット活用実績

※令和3年度市内65歳以上の救急出動件数 579件 (2021.9月末)

自宅用シート	136件
介護施設用シート	25件

## ④ 市民に向けた普及啓発

- コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、市主催の在宅医療フォーラム、終活支援講座は実施を見合わせています。
- 公民館等が主催する終活支援講座に講師として協力しています。
- 「しろい在宅医療フォーラム」の代替イベントの検討を市民啓発ワーキングで行っています。

# 4. 多職種連携情報共有システムの 運用状況

## アカウント数（人）の実績

	令和2 年度 3月	令和3 年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者 ※注1	30	31	32	35	41	43	43	45
患者 ※注2	23	33	35	35	33	36	40	42

注1) 利用者アカウント数 = 利用者数ではない。  
アカウントを事業所内共有している場合があるため、実際の利用者数はさらに多い。

注2) 患者アカウント数には、システムを利用する医療・介護関係者のための情報交換を行う「みんなの部屋」、システムの利用体験が行える「テスト患者の部屋」なども含まれる。



今年3月の導入当初、テスト患者を設定して  
操作体験を行いました。



テストカンジャシロイチョウジュウロウ

テスト患者 白井長十郎

令和3年(2021年)03月01日 (0歳) 分類・注釈:

患者情報

連絡帳

バイタル

おくすり

カレンダー

まとめ

2021/06/03(木) バイタル:0件

理学療法士 (P)

食事介助の際は、体が右に傾いてしまう為、バスタオルを丸めたものを右の背中に入れてください。また、右の脇に大きめのクッションをいれるとさらに姿勢が安定します。どうぞよろしくお願致します。

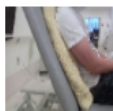
※画像は分割して送信させていただきます。

リハビリ科

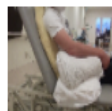
閉じる



DSCF5425.JPG 0.43MB



DSCF5429.JPG 0.44MB



DSCF5428.JPG 0.46MB

既読 32/43人 2021/06/03(木) 09:13

2021/05/31(月) バイタル:0件



ヘルパー

件名: [redacted] です。

[redacted] 病院訪問リハビリのご担当様。

白井市の白〇様ですが、食事介助の際、座位保持がやはりうまくいきません。ご本人に負担のない保持の方法を教えて頂けたら幸いです。できれば写真を添付して頂けると助かります。

既読 33/43人 2021/05/31(月) 17:31

## システムの普及に向けて、今後検討が必要なこと ～白井市の在宅医療の現状～

令和2年度（R2.4～R3.3の1年間分）国保データベースによる在宅医療サービス提供状況  
在宅医患者訪問診療料（同一建物居住者・同一建物居住者以外）

医療機関 所在地	人数	人数 (割合%)	回数	回数 (割合%)
柏市	383	37%	2744	37%
白井市	281	27%	2077	28%
鎌ヶ谷市	96	9%	628	9%
松戸市	62	6%	507	7%
船橋市	54	5%	423	6%
総計	1047	100%	7351	100%

国保データベースによる在宅医療サービス提供状況  
 在宅時医学総合管理料(自宅等への訪問診療) 令和2年度(R2.4~R3.3の1年間分)

医療機関所在地	人数	割合	回数	割合
柏市	148	35%	316	26%
白井市	102	24%	380	32%
鎌ヶ谷市	76	18%	262	22%
印西市	26	6%	39	3%
松戸市	20	5%	90	8%
八千代市	20	5%	55	5%
<b>総計</b>	<b>418</b>	<b>100%</b>	<b>1195</b>	<b>100%</b>

令和2年度(R2.4~R3.3の1年間分) 介護保険給付データ  
 介護予防訪問看護・訪問看護サービス提供状況

事業所所在地	人数	人数 (割合%)	回数	回数 (割合%)
船橋市	48	34%	228	34%
鎌ヶ谷市	30	21%	164	24%
柏市	25	18%	138	20%
白井市	22	16%	81	12%
印西市	6	4%	26	4%
<b>総計</b>	<b>140</b>	<b>100%</b>	<b>674</b>	<b>100%</b>